

2016年2月25日

水Do!フォーラム2016

つながり ひろげる 脱使い捨てと水の域産域消

2020年に向けた水Do!提案



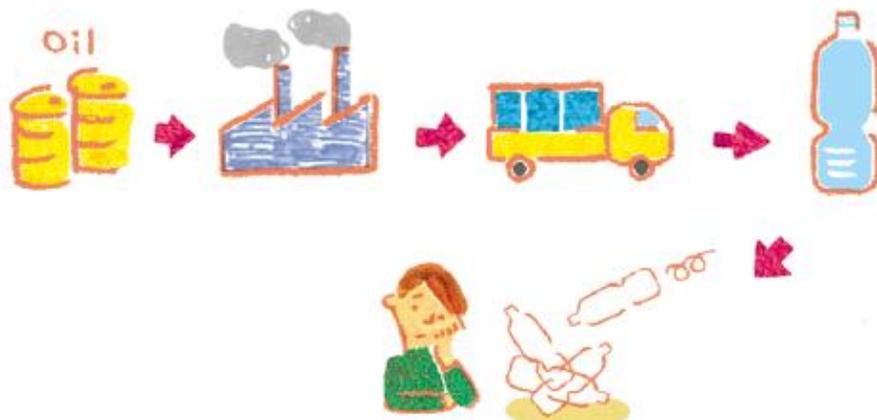
水Do!ネットワーク 事務局長
瀬口 亮子



水Do！（スイ・ドウ）とは

水Do！（スイ・ドウ）は、ペットボトルなどの使い捨て（ワンウェイ）容器入りの飲料の利用を減らし、水道水の飲用、「水の域産域消」を推進することにより、環境負荷の低減と地域の水資源保全、人にやさしいまちづくりを促進するキャンペーンです。

環境負荷をへらす



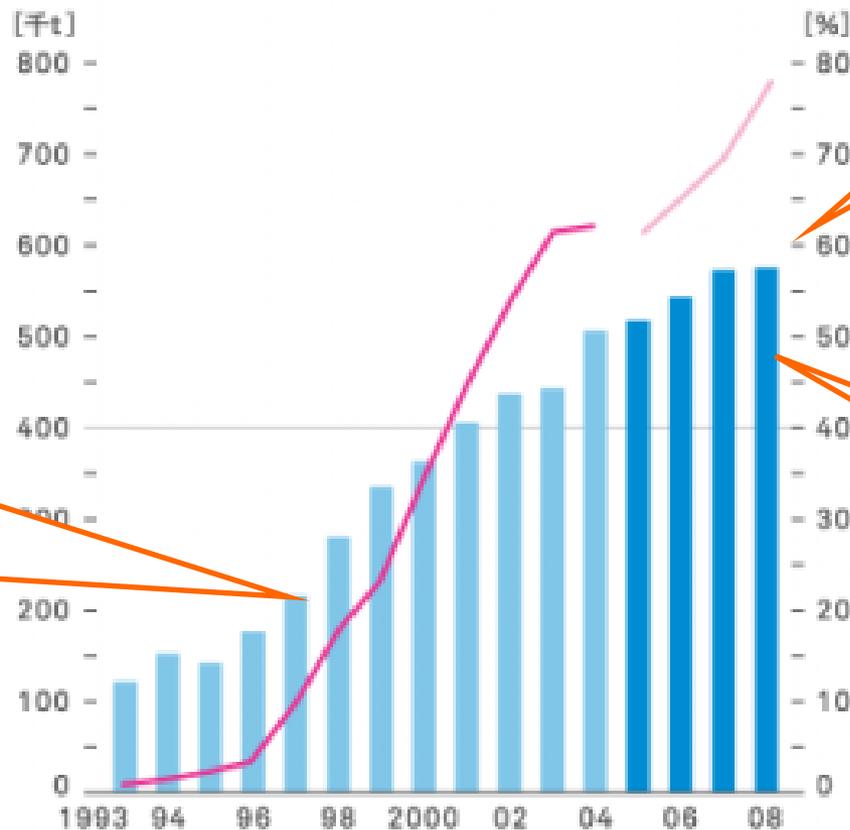
- ペットボトル等の使い捨て飲料容器入りの水やお茶の消費が増えている。
- ペットボトル飲料水のライフサイクル(製造・輸送・冷蔵販売・リサイクル)の使用エネルギーは、水道水の数百倍。
- 水道水を上手に飲用利用すれば、その分環境負荷を減らせる。

ペットボトルの生産量とリサイクル率の推移

生産量(重量)は20年間で約5倍に

ペットボトルの生産量・販売量と回収率の推移

PETボトルリサイクル推進協議会のデータより作成



1997年 自治体の回収開始

小型ペットボトル登場

2014年度販売量
569千トン

薄く軽くなっているのに総重量が増加
=本数はそれ以上に増加
(特にお茶・水)

指定PETボトル用樹脂生産量

指定PETボトル販売量

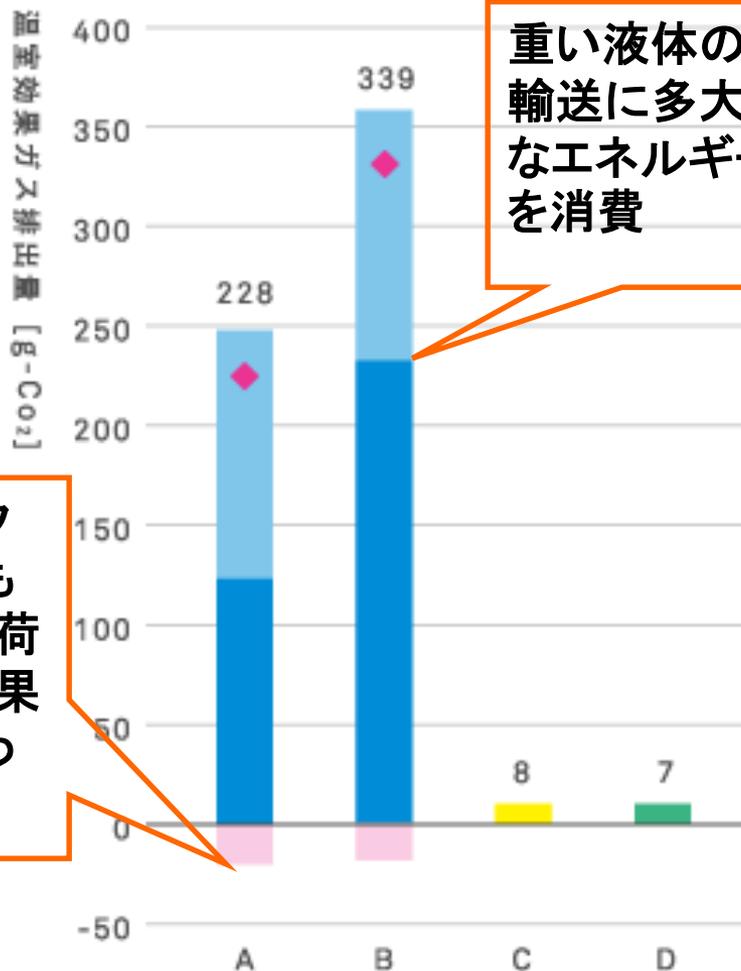
旧回収率

新回収率

ペットボトル入り飲料水と水道水の 環境負荷比較 その差は歴然

飲料水 (500ml) 利用のCO₂排出量比較

東京大学・平尾研究室による試算



重い液体の輸送に多大なエネルギーを消費

リサイクルしても環境負荷軽減効果はごくわずか

- A ペットボトル入り国産ミネラルウォーターを自動販売機で購入して飲む。ボトルはリサイクルへ。
- B ペットボトル入り輸入ミネラルウォーターを自動販売機で購入して飲む。ボトルはリサイクルへ。
- C 冷水機を使用して、水道水を飲む。
- D 浄水した水道水をアルミ水筒に入れて飲む。

- ペットボトル飲料水の生産・流通
- ペットボトル飲料水の販売
- 水道水の供給
- 冷水機・浄水器の使用
- 飲用容器の使用
- ペットボトルのリサイクル
- ◆ ペットボトルリサイクルによる排出回避分を含むCO₂排出合計値

地域の水を守る

- 水は、地域の共有財産。水源の森も、川も、地下水も、水を共有する地域全体で守ることが必要。
- 「飲む」ことを通して、地域の水資源に関心を持つことは、地域の水を保全する活動の第一歩。



地域の水をまもる

人にやさしく潤いのある社会をつくる

- 人は誰でも水がなくては生きられない。
- 人々が健康を維持するための水分補給インフラを用意することは、公共の責任。
- 街にオアシスがふえることで、社会に活気があふれる。



2020年 会議に使い捨て容器入り飲料はない

- 省庁や自治体の審議会等の会合で、ペットボトル等の使い捨て容器に入った飲料は提供しない。
(環境負荷低減の率先行動、おもてなし)



2020年 街中にオアシスがたくさん

- 駅、商業施設、大学構内などには、誰もが利用できる水飲み場、給水設備が十分に設置されている(教育機関、公共スペースは設置義務付けも必要)
- 給水インフラの設置が十分に案内されている。



2020年 自然保護区等はボトルフリー

- 国立公園内等、特定のエリアにおいては、ペットボトル等の使い捨て容器入り飲料の販売は行わない措置を。



米国ではグランドキャニオンはじめ多くの国立公園等がペットボトル飲料水の販売を禁止

東京オリンピック・パラリンピック を水飲みインフラ整備の契機に

- 真夏の東京での開催⇒熱中症対策
- そもそもスポーツ施設に給水インフラは必須
- レガシーとして街を変えるチャンス



- 競技場内に多くの水飲み場、給水設備を
- 競技場内への水筒持ち込みを可能にし、持参呼びかけを
- 街中(屋内外)に、誰もが使える水飲み場、給水設備を

はじめよう 東京オアシス計画！



東京都は東京国際フォーラム中庭に
東京水の水飲み場設置！



米国サンフランシスコ市は
公共エリアでのペットボトル飲料水販売
を禁止！
新設ビルに給水インフラ設置義務付け！

お問い合わせ

水Do!キャンペーン公式サイト

<http://sui-do.jp>



水Do!ネットワーク 事務局

〒110-0015

東京都台東区東上野1-20-6 丸幸ビル3F

E-mail: info@sui-do.jp